

若鯨会を知る

in Nagoya

Get to know! Wakashachi-kai!
日本
最大級の
異業種
交流会

相談できる! 新商品のヒントがある! 経営について学べる! ビジネスチャンスが満載! 会員数は約500人!

石原 和典氏 インタビュー

創業42年、南区の内田橋商店街で
地域密着型の不動産業を営み、地域振興や歳末助け合い募金など、
愛と信頼でまちを支え続けている3Gの石原和典さんに
若鯨会の経験と魅力を語って頂きました。

若鯨会の魅力と活かし方

5年前、東京から名古屋へ戻った際、地元が同じ3Gの株式会社押村商会・押村宣広さん（現在は卒業生）から声をかけていただきました。「内田橋商店街を盛り上げるために祭りを企画しよう! 若鯨会にも入ろう!」という提案に共感し、町おこしと若鯨会活動を同時にスタートしました。

若鯨会に入会したきっかけは?

社業に活きたことは?

経営において精神的な支えを得られたことは、非常に大きな意味がありました。前年度の代表幹事が「最近仕事どう?」と気にかけてくれる風土があり、仕事の悩みを素直に話せる環境が整っています。同じ立場の経営者同士、横並びで相談し合える仲間が増えたこと、また自分の至らない点を指摘してもらえ、機会が増えたことは、社業の発展に直結しています。加えて、効率的な時間の

若鯨会は「交流」と「研鑽」の場です。名古屋に戻った当初、私は経営者仲間が一人もいませんでしたが、若鯨会を通じて多くの経営者と出会うことができました。入会後はグループのサブリーダーや、委員会の幹事副・副委員長などを務め、自らの成長を実感する機会を得ました。単なる異業種交流にとどまらず、深い信頼関係を築けることも大きな魅力です。たとえば町おこしの取り組みも、若鯨会だからこそ実現できたものです。

入会を検討されている方へ

使い方を意識するようになり、日々の業務改善にもつながりました。

会社経営において最も大切なのは「人との繋がりがり」です。若鯨会では信頼できる仲間と出会い、その絆が確実に会社の成長を後押ししてくれます。時には若鯨会活動に力を注ぎすぎて一時的に売上が落ちることもあります。最終的には確実にプラスになります。私自身、それを実感しています。若鯨会への入会は、間違いなく会社の未来を拓く選択になるでしょう。



PROFILE

石原 和典 Kazunori Ishihara

昭和55年11月21日 (44歳)
石原住宅 株式会社 取締役
令和3年度入会



若鯨会で活動してみませんか?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。
今年で43目を迎え、創立以来自主運営で事業活動を行ない、会員の相互啓発と企業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に活動しています。14のグループ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

新入会員募集中

| お問合せ・お申込み先 |

名商中小企業部内 若鯨会事務局まで

Tel. 052-223-5634

| WEB | <https://wakashachi.net/>

資料請求
はコチラ

